

件名 **愛宕地区 地域ケア会議**

12月08日(金)

愛宕地区地域ケア会議は地域包括ケアシステムの地域部会です。地域包括ケアシステムとは市長を中心とする本部会議に対して専門部会（医療部会、介護部会、介護予防部会、生活支援部会、住まい部会、認知対策部会）と地域部会（地区社会福祉協議会または自治会連合会単位で開催）から報告や提案をしていきます。

今回の会議は地域部会に位置付けられます。参加者は民生委員、福祉員、自治会長、社会福祉協議会、サロン従事者、医療機関、介護保険サービス事業者、介護支援専門員、NPO、ボランティア団体などにテーマに応じて声が掛かって開催する会議です。今回の会議は30名の参加者で①岩国地域包括ケアシステムの構築についての説明②岩国市と愛宕地区の現状、人口推移や高齢化についての確認 ③地域で主体的に活動している団体の紹介④各ブロックに分かれて地域の現状や課題などを話し合いが主な内容です。

このような地域包括ケアシステムの構築が急がれるその背景は団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重要な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援が包括的に確保される体制の構築を実現することにあります。共助、公助が厳しくなっていく中での自助、互助活動の実現が避けて通れない事態にあるとの認識が必要です。

65歳以上の高齢化の実態は岩国市で33.7%、愛宕地区29.4%です。介護保険1号被保険者認定率は岩国市で18.5%、愛宕地区で16.2%であります。

今回のグループ討議の中で出てきた課題の中には地区特有の交通の便の悪さ、買い物のお店が近場がないなどの地区もあります。又、今現在いろいろお世話をしている方々も高齢化が進んでおり次にバトンタッチをしていく人材も見つからず活動も先細り状況が進んでいます。

地区の行事も無くなっていきつつあり、その背景には若い世代のマンパワーも少なく世代間のギャップもあるのではないかとのご意見もありました。

これらの課題に対して今相談の窓口は地域福祉コーディネーター、高齢者支援ボランティアコーディネーターが受けていただきます。

社会福祉協議会 岩国支部 TEL 22-5877 が手助けしていただけますのでご相談下さい。

